

**08年8月より大手量販店向け「調達支援ビジネス」が
いよいよスタート！**

～ 新ビジネスの立ち上がりにより、09/11期は大幅増益を目指す ～

イーサポートリンク株式会社

大証ヘラクレス（銘柄コード:2493）

2008年 8月 7日

I. 事業概要

・イーサポートリンクとは	3
・ビジネス別利益計画	4
・基幹ビジネス:事業概要	5
・基幹ビジネス:事業モデル	6
・調達支援ビジネス:「生鮮MDシステム」の概要	7
・販売支援ビジネス:事業概要	8

II. 08/11期 中間決算説明

・中間決算ハイライト	10
・セグメント別売上高／売上総利益	11
・損益計算書	12
・経常利益変動要因分析 -08/11上期経常利益の変動要因-	13
・貸借対照表	14

III. 08/11期 通期見通し

・08/11期売上高・利益計画	16
・08/11期セグメント別売上高計画	17
・経常利益変動要因分析 -08/11期経常利益の変動要因-	18

- ビジネス別 要因説明 -

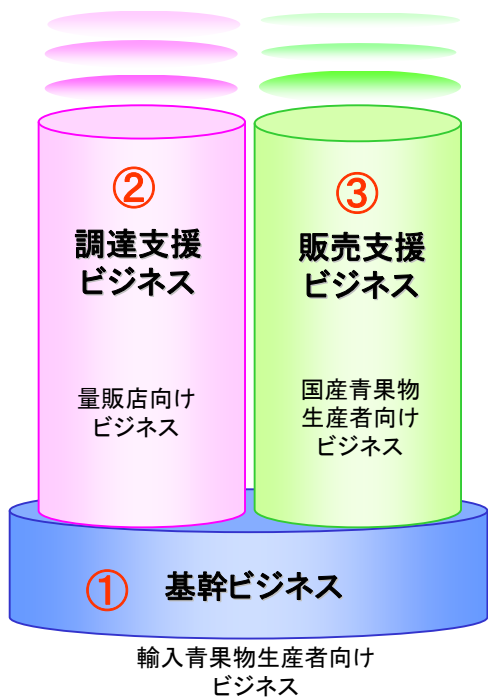
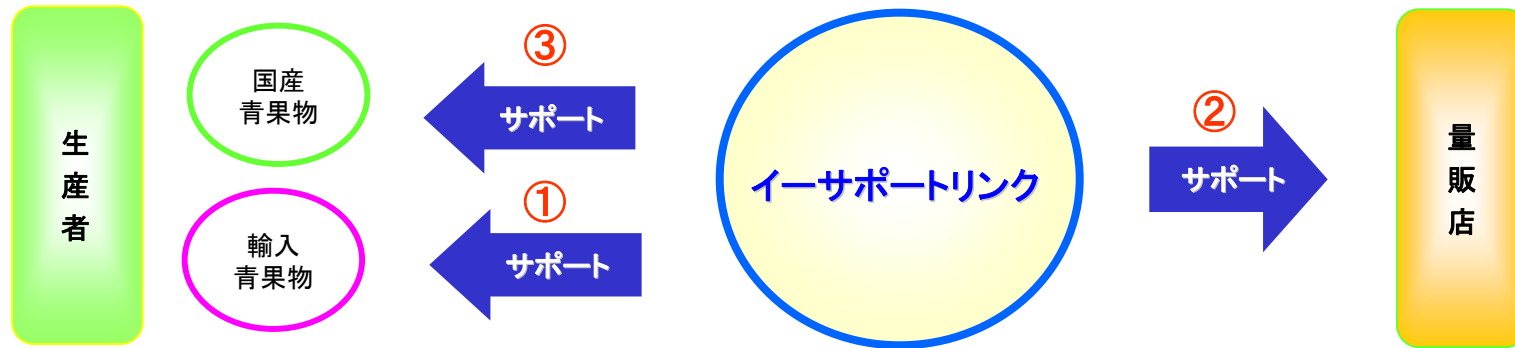
・基幹ビジネスの見通しと要因	20
・調達支援ビジネスの見通しと要因	21
・販売支援ビジネスの見通しと要因	22

※ 参考資料

・会社概要	24
・流通経路 《従来の市場流通》	25
・流通経路 《市場外流通》	26
・イーサポートリンクシステムの特徴	27

I. 事業概要

イーサポートリンクは、生鮮青果物流通を効率化させるためのシステムを構築し、トレーサビリティを実現させた企業です！



基幹ビジネス

輸入青果物生産者の効率的流通をサポートするビジネス

生産者、中間流通業者、量販店を結ぶ、独自の情報システムにより、生鮮青果物流通における“ムダ”、“ロス”を排し、ローコスト化を可能とするビジネス。流通過程を一元管理することでトレーサビリティも実現！

調達支援ビジネス

小売・量販店バイヤーの戦略的な商品調達をサポートするビジネス

小売・量販店バイヤーの経験や勘に頼っていた商品調達を「生鮮MDシステム」で支援！“ムダ”の元である見込みを排し、実需に合わせた商品調達や損益把握をサポートする

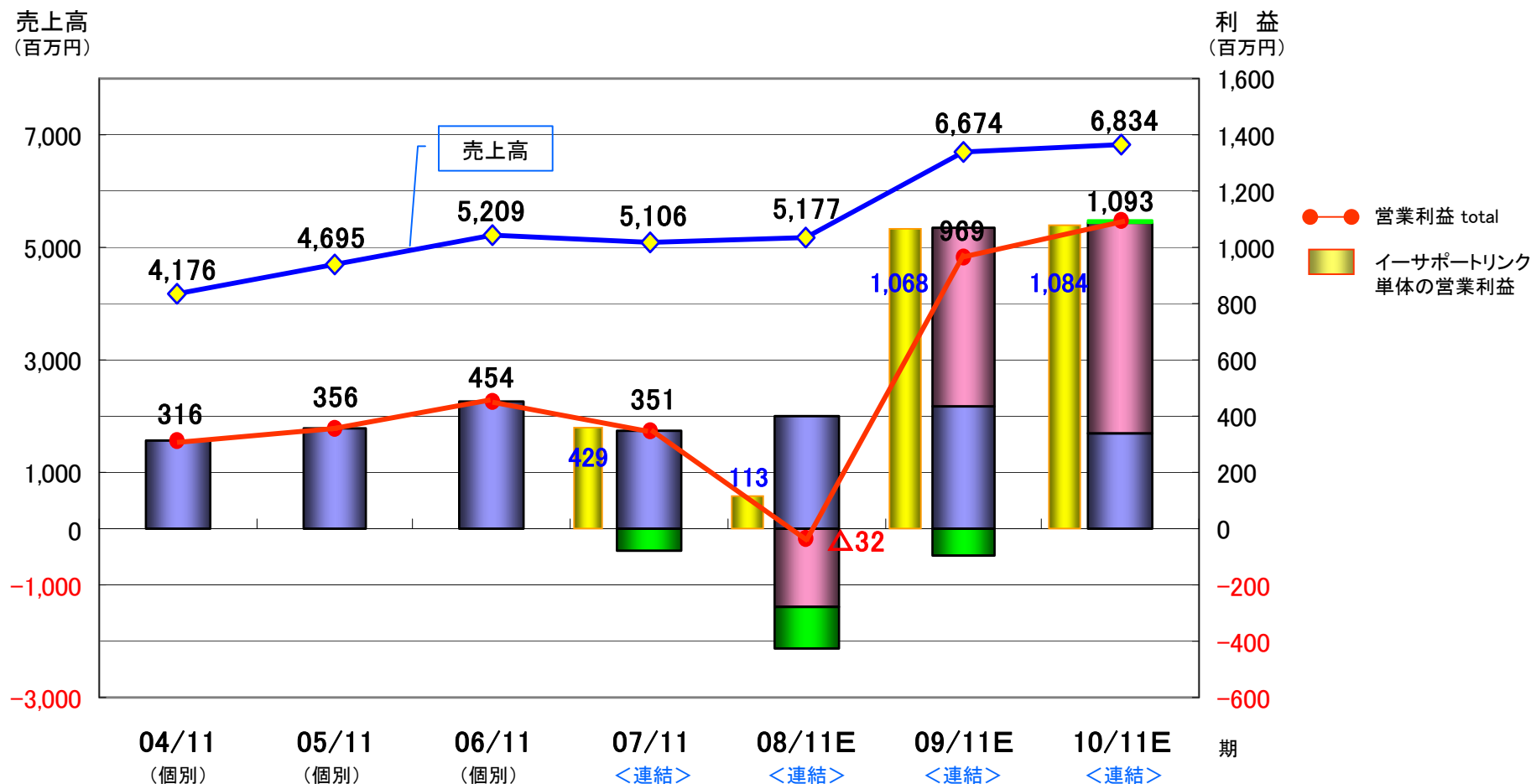
販売支援ビジネス

国産青果物生産者の商品販売をサポートするビジネス

良い作物を生産しても適正な値段で販売する術を持っていなかった生産者を支援するビジネス (株)農業支援によるマーケティングと金融支援でサポートする

<各ビジネスの詳細は、虎の巻をご覧ください。>

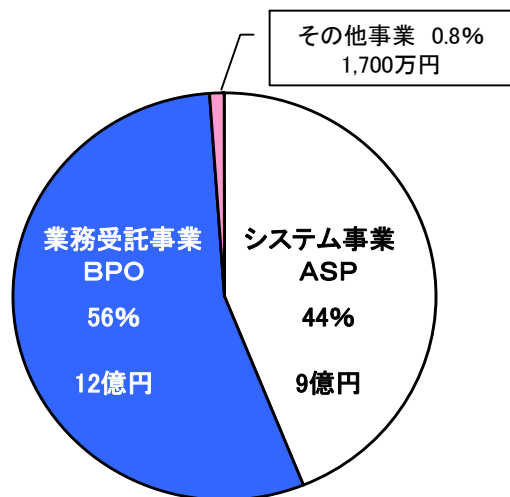
事業構造に変革をもたらす、量販店向け「調達支援ビジネス」がいよいよスタート！



		04/11	05/11	06/11	07/11	08/11E	09/11E	10/11E
■	基幹ビジネス	売上高 4,176	4,695	5,209	5,065	4,585	4,408	4,182
	営業利益	316	356	454	429	396	435	341
■	調達支援ビジネス	売上高 —	—	—	—	376	1,897	1,991
	営業利益	—	—	—	—	△ 282	633	743
■	販売支援ビジネス	売上高 —	—	—	41	221	373	665
	営業利益	—	—	—	△ 77	△ 145	△ 99	8

確固たるインフラで、生鮮青果物流通の効率化に貢献するオンリーワン企業

■ 売上構成 (08/11上期)



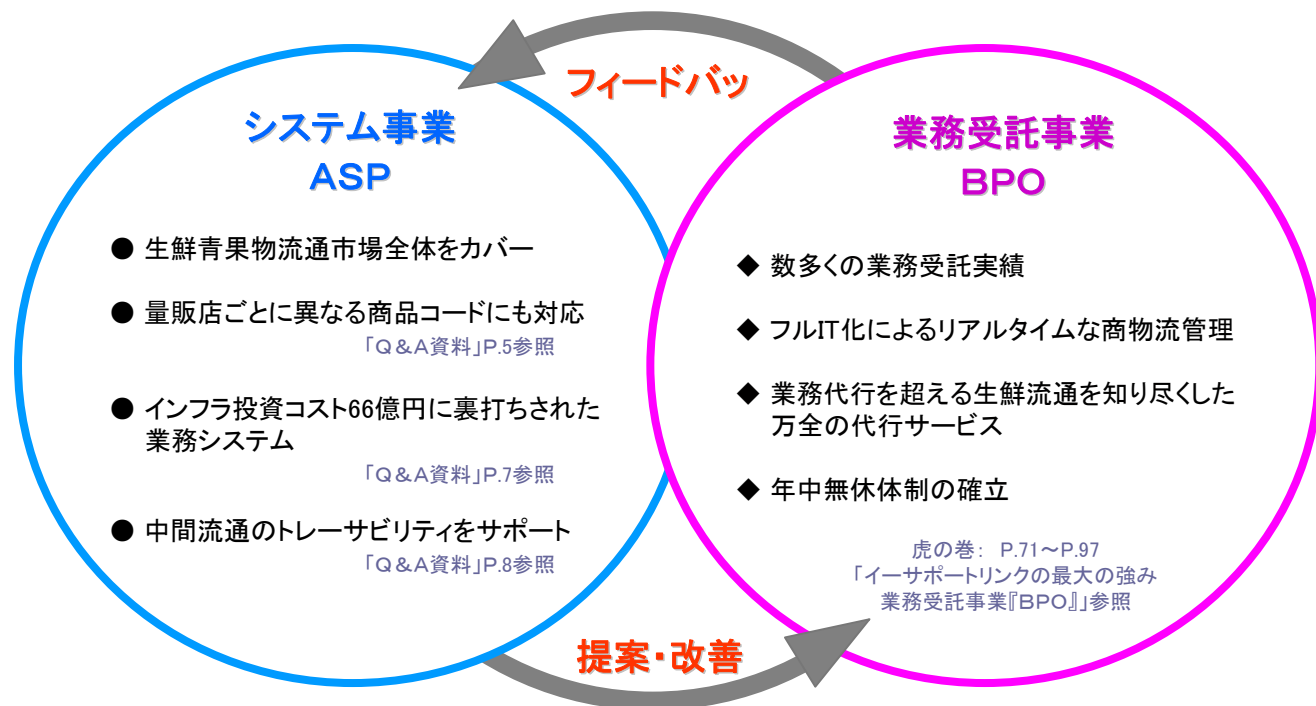
基幹ビジネス

- システム事業 ASP
- 業務受託事業 BPO

販売支援ビジネス

- その他事業
(りんごの受託販売とマーケティング事業)

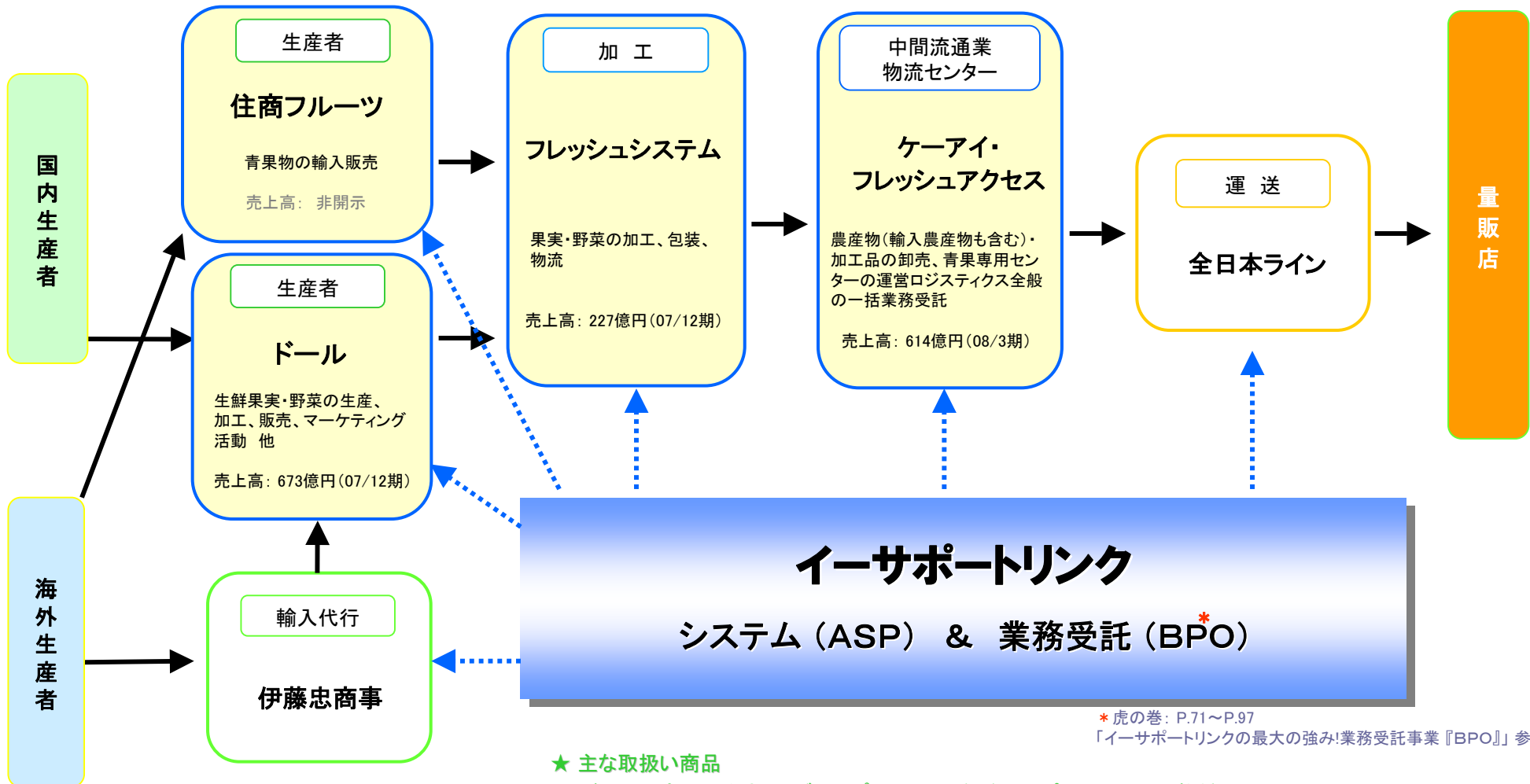
**ASPによるシステム提供と、業務受託で
他社に真似のできない
サービスを提供！**



青果物流通を情報面からサポートし、“ムダ”や“ロス”を最小限に抑制

★ 主要クライアント企業は、生産から量販店までのサプライチェーンを構成

 ... 主要クライアント4社



★ 主な取扱い商品
バナナ、パイン、キウイ、グレープフルーツ など、トロピカルフルーツ数種

* 虎の巻： P.71～P.97
「イーサポートリンクの最大の強み!業務受託事業『BPO』」参照

虎の巻： P.6～P.29 「バナナ物語」も併せてご覧ください。

注： この図解はあくまでイメージ図で、全ての取引がこの限りではありません。

量販店の商品調達戦略（マーチャндаイジング）は、大きく変わっていきます！

小売取引先

ASP利用者

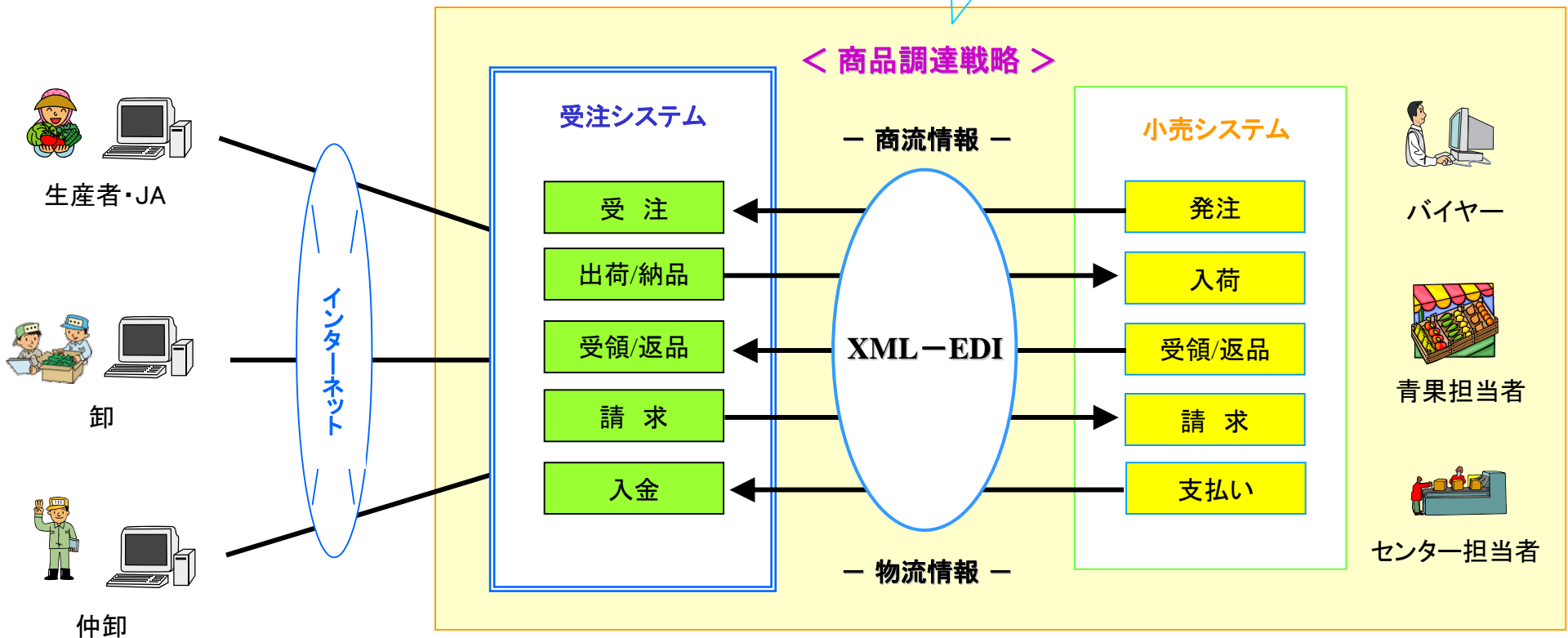
イーサポートリンク

ASP提供者

＜商品調達戦略＞を
イーサポートリンクは
「生鮮MDシステム」
支援します！

小売・量販店

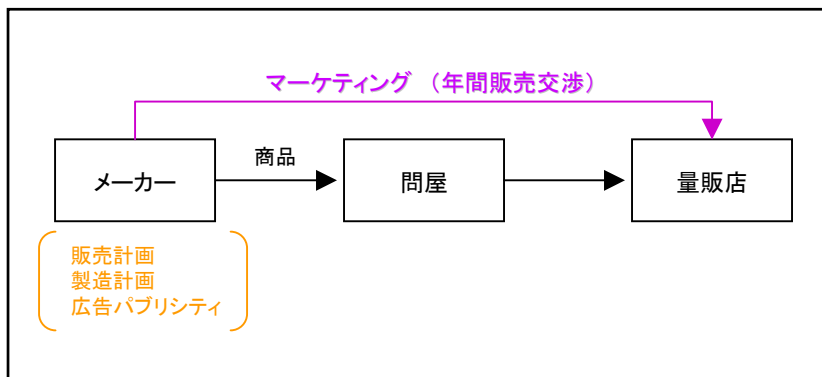
XML-EDI導入企業



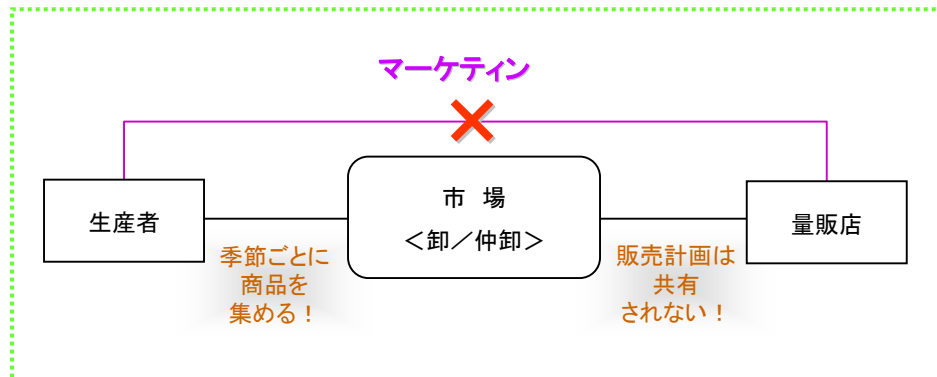
(株) 農業支援が生産者に代わって、量販店との販売交渉や販売促進広告をサポート！

加工品メーカーと違い、多くの農産物生産者は自らの商品をマーケティングする術を持っていません

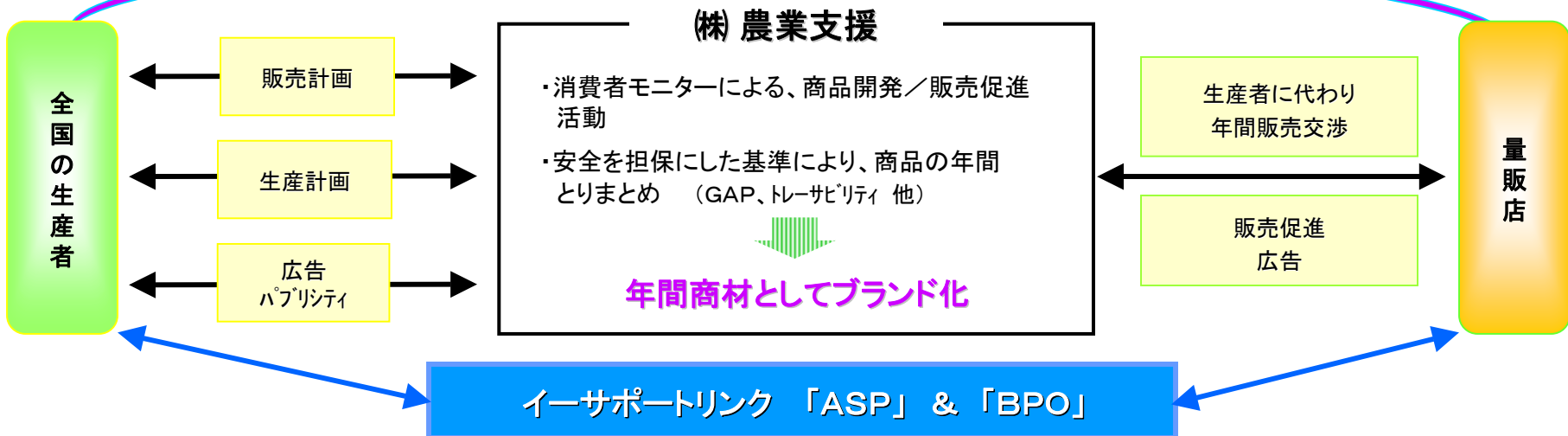
< 加工品 >



< 農産物 >



マーケティング



Ⅱ. 08/11期 中間決算説明

(単位:百万円、%)

	07/11上期 実績		08/11上期 実績		前年同期比		08/11上期 計画		
	金額	売上比	金額	売上比	前期差異	増減率	金額	計画差異	増減率
売上高	2,524	100.0%	2,150	100.0%	△373	85.2%	2,314	△164	92.9%
営業利益	68	2.7%	△121	△5.7%	△190	—	△185	+63	—
経常利益	43	1.7%	△128	△6.0%	△172	—	△194	+65	—
中間純利益	14	0.6%	△120	△5.6%	△135	—	△205	+84	—

※百万円未満切捨てで表記

急激な為替変動の影響で、バナナ等の輸入青果物の輸入量が前年同期比で割り込み、主要クライアント企業の商品通過量の減少に伴い、基幹ビジネスにおける受託業務量が当初計画を下回る結果となった。08/11期は、新ビジネス(販売支援ビジネス)の立ち上げコストが負担となるため、当初より赤字の計画であったが一層のコスト削減に努め、営業利益、経常利益、中間純利益は計画を上回ることができた。

セグメント別売上高／売上総利益

(単位:百万円、%)

	07/11上期		08/11上期		金額増減	前年同期比
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	2,524	100.0%	2,150	100.0%	△ 373	85.2%
システム事業	1,101	43.6%	940	43.8%	△ 161	85.4%
業務受託事業	1,415	56.1%	1,192	55.5%	△ 222	84.3%
その他事業	7	0.3%	17	0.8%	9	238.3%
売上原価	2,103	83.3%	1,757	81.7%	△ 345	83.6%
システム事業	1,119	44.3%	872	40.6%	△ 247	77.9%
減価償却費	581	23.1%	306	14.3%	△ 275	52.7%
保守管理費	353	14.0%	367	17.1%	14	104.0%
その他	184	7.3%	198	9.2%	13	107.6%
業務受託事業	975	38.6%	841	39.1%	△ 134	86.2%
給与	429	17.0%	367	17.1%	△ 61	85.6%
派遣料	162	6.5%	116	5.4%	△ 46	71.3%
その他	382	15.2%	357	16.6%	△ 25	93.3%
その他事業	8	0.3%	44	2.1%	35	502.2%
売上総利益	420	16.7%	392	18.3%	△ 28	93.3%
システム事業	△ 17	△0.7%	68	3.2%	86	—
業務受託事業	439	17.4%	351	16.3%	△ 88	79.8%
その他事業	△ 1	△0.1%	△ 27	-1.3%	△ 25	—

< 主な要因 >

システム事業:
システム上カウントされるTR(トランザクション件数)が減少

業務受託事業:
バナナ等の輸入量が前年を割り込んでいる状況のなか、受注・移動等を伴う受託業務量が減少

システム事業:
基幹システムの一部の減価償却が08/11期で終了したため

業務受託事業:
受託業務量減少を受け、人員削減・総労働時間を削減

※百万円未満切捨てで表記

損益計算書

(単位:百万円, %)

科目	07/11上期		08/11上期		前年同期比
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	2,524	100.0%	2,150	100.0%	85.2%
売上原価	2,103	83.3%	1,757	81.7%	83.6%
売上総利益	420	16.7%	392	18.3%	93.3%
販売費及び一般管理費	352	14.0%	514	23.9%	145.9%
営業利益	68	2.7%	△ 121	△5.7%	—
営業外収益	3	0.1%	3	0.2%	109.2%
営業外費用	28	1.1%	10	0.5%	38.0%
経常利益	43	1.7%	△ 128	△6.0%	—
特別利益	—	—	31	1.5%	—
特別損失	4	0.2%	16	0.8%	353.1%
税引前中間純利益	38	1.5%	△ 114	△5.3%	—
法人税、住民税及び事業税	36	1.4%	7	0.3%	20.4%
法人税等調整額	△ 12	△0.5%	△0	0.0%	—
少数株主損益	0	0.0%	—	—	—
中間純利益	14	0.6%	△ 120	△5.6%	—
1株当たり当期利益	507.02円		△4,144.06円		—

< 主な要因 >

(単位:百万円)

< 単体 >

- ・ 内部統制関連費用の発生:
08/11上期 29
(07/11下期からスタート)
- ・ 新規事業の販管費: 60
- ・ その他費用: △9

< 連結 >

- ・ のれん償却費の増加: 8
- ・ 連結子会社のマーケティング事業への先行投資発生: 26
- ・ その他(人件費等): 46

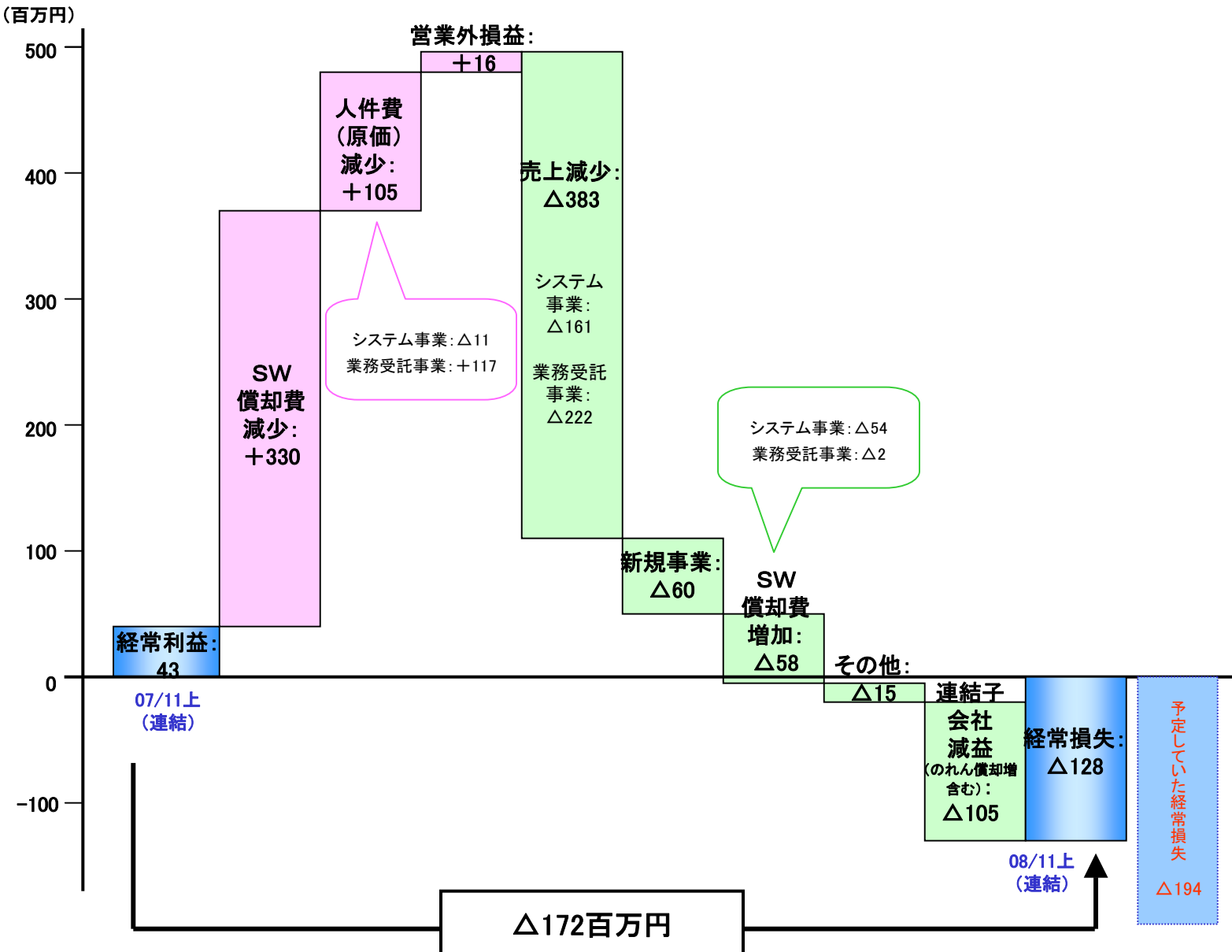
- ・ 農業支援の第三者割当増資による持分変動利益の発生

- ・ 固定資産除去損の発生

※百万円未満切捨てで表記

輸入量の減少からくる売上高の減少があったが、コスト削減に努め計画より上回る結果に！

(単位:百万円)



- **売上減少: $\Delta 383$**
システム事業において、システム上に発生するデータ件数が減少した。業務受託事業においては、バナナ等の輸入量が前年を割り込む状況の中、受託業務量が減少。
- **人件費(原価)減少: 105**
主に業務受託事業における作業量減少により、人員及び総労働時間を削減。(計画は+50)
- **ソフトウェア償却費**
・減少: 330
一部のソフトウェア資産の償却期間経過による償却費減少の影響。
・増加: $\Delta 58$
基幹システムに対する改良及び各種新規機能のリリースによるソフトウェア償却費が増加。
- **連結子会社業績及びのれん償却費: $\Delta 105$**
連結子会社の(株)農業支援は平成19年産りんごの選果及び出荷販路の拡大に努めたものの、集荷が若干の未達となる。また、マーケティング事業への先行投資費用が発生。のれん償却費は、07年4月以降の連結対象であり、07/11上期は2ヶ月分の影響。

貸借対照表

(単位:百万円)

	07/11期末	08/11上期末	増減額
【流動資産】	1,410	1,467	56
【固定資産】	3,460	3,308	△ 151
有形固定資産	311	319	7
無形固定資産	2,735	2,568	△ 167
投資その他の資産	412	420	8
【繰延資産】	2	1	0
資産合計	4,873	4,777	△ 95
【流動負債】	962	922	△ 40
【固定負債】	228	293	65
負債合計	1,190	1,215	24
【資本金】	2,471	2,471	—
【資本剰余金】	1,233	1,233	—
【利益剰余金】	△ 22	△ 143	△ 120
【少数株主持分】	—	—	—
純資産合計	3,682	3,561	△ 120
負債純資産合計	4,873	4,777	△ 95

< 主な要因 >

- ・ アライアンス企業向けシステムのリリースによる、ソフトウェア仮勘定の減少
- ・ 法人税の支払い、派遣人件費等未払金の減少
- ・ 長期借入金の増加

※百万円未満切捨てで表記

Ⅲ. 08/11期 通期見通し

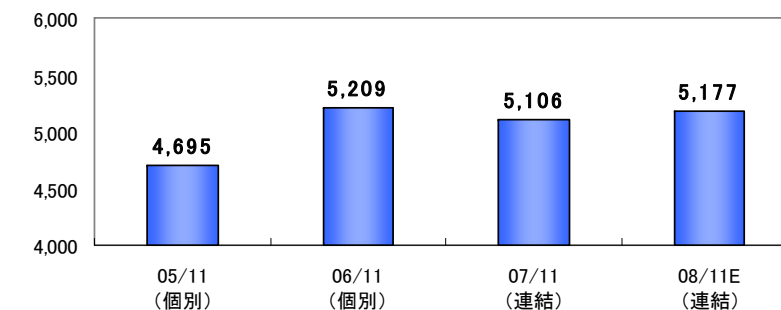
(単位:百万円)

	05/11 (個別)	06/11 (個別)	07/11 (連結)	08/11E (連結)
売上高 (百万円)	4,695	5,209	5,106	5,177
前期対比 (%)	112.4%	110.9%	98.0%	101.4%
営業利益 (百万円)	356	454	351	△ 32
前期対比 (%)	112.7%	127.4%	77.4%	-
売上比 (%)	7.6%	8.7%	6.9%	△0.6%
経常利益 (百万円)	250	328	310	△ 50
前期対比 (%)	123.2%	131.4%	94.3%	-
売上比 (%)	5.3%	6.3%	6.1%	△1.0%
当期純利益 (百万円)	286	157	125	△ 119
前期対比 (%)	86.2%	54.8%	80.0%	-
売上比 (%)	6.1%	3.0%	2.5%	△2.3%
1株当たり当期純利益(円)	10,822.56	5,702.54	8,051.64	△ 4,108.61
ソフトウェア投資額 (百万円)	697	920	939	876
ソフトウェア償却費 (百万円)	1,069	1,146	977	699

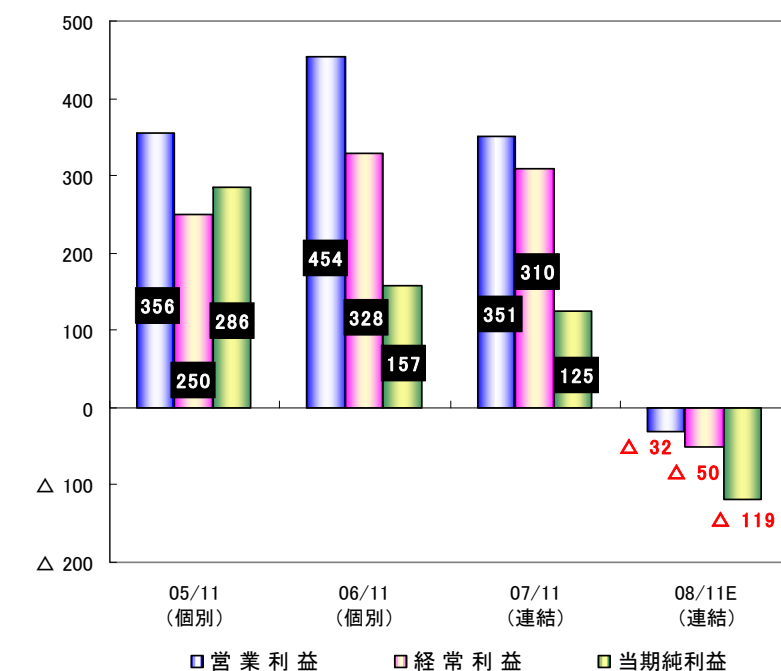
※百万円未満切捨てで表記

* 通期計画は、変更しておりません。

◆ 売上高



◆ 営業利益・経常利益・当期純利益

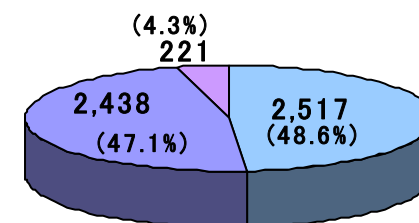
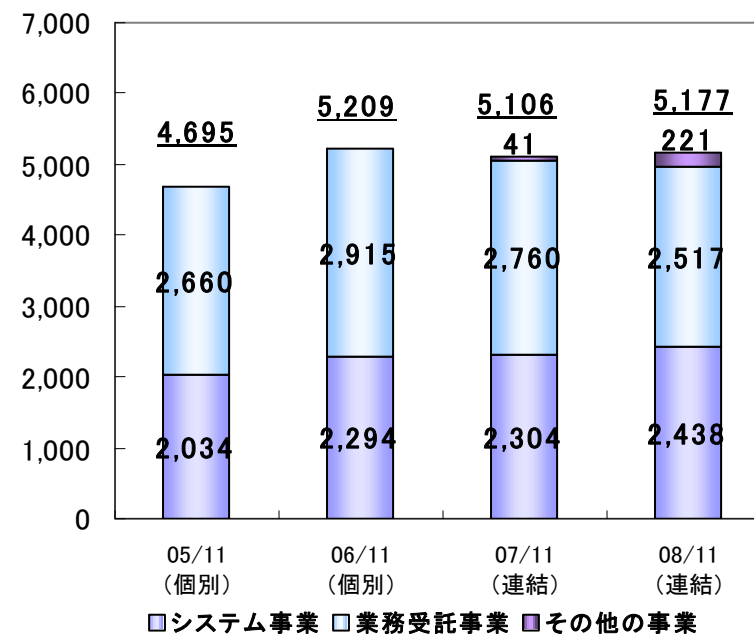


(単位:百万円)

	05/11 (個別)	06/11 (個別)	07/11 (連結)	08/11E (連結)
売上高 (百万円)	4,695	5,209	5,106	5,177
前期対比 (%)	112.4%	110.9%	98.0%	101.4%
システム事業 (百万円)	2,034	2,294	2,304	2,438
前期対比 (%)	116.0%	112.8%	100.5%	105.8%
売上構成比 (%)	43.3%	44.0%	45.1%	47.1%
業務受託事業 (百万円)	2,660	2,915	2,760	2,517
前期対比 (%)	109.8%	109.6%	94.7%	91.2%
売上構成比 (%)	56.7%	56.0%	54.1%	48.6%
その他の事業 (百万円)	—	—	41	221
前期対比 (%)	—	—	—	536.9%
売上構成比 (%)	—	—	0.8%	4.3%

(百万円)

◆ セグメント別売上高

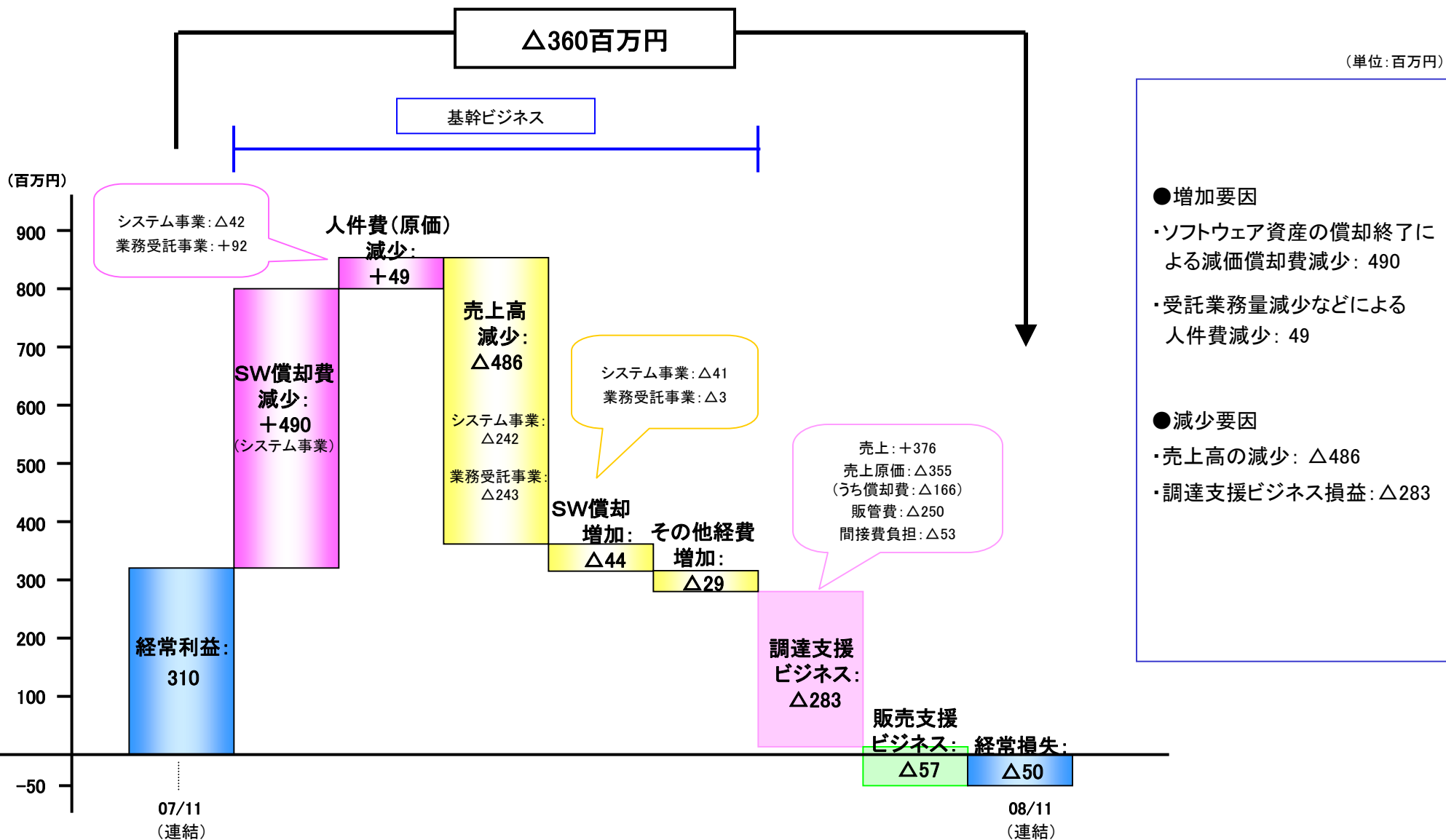


08/11E

※百万円未満切捨てで表記

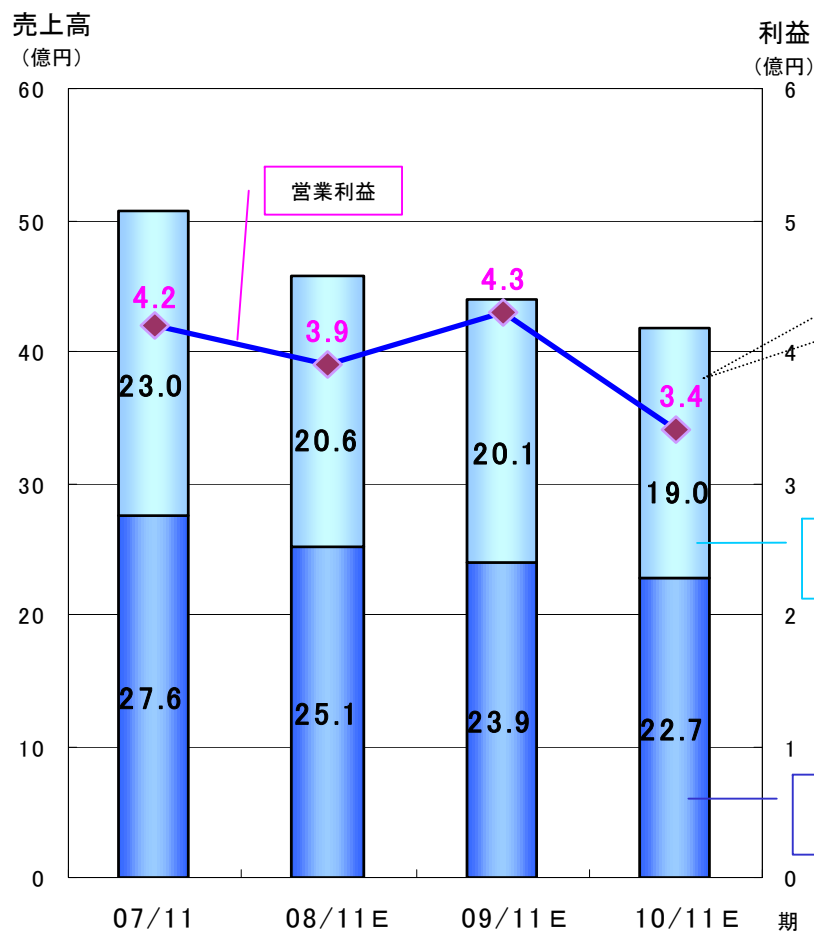
* 通期計画は、変更していません。

バナナ等の輸入量の減少は下げ止まり！ 新ビジネスもスタートし、通期では計画値を達成予定！



ビジネス別 要因説明

売上は減少気味ながら、コスト削減で収益をカバー



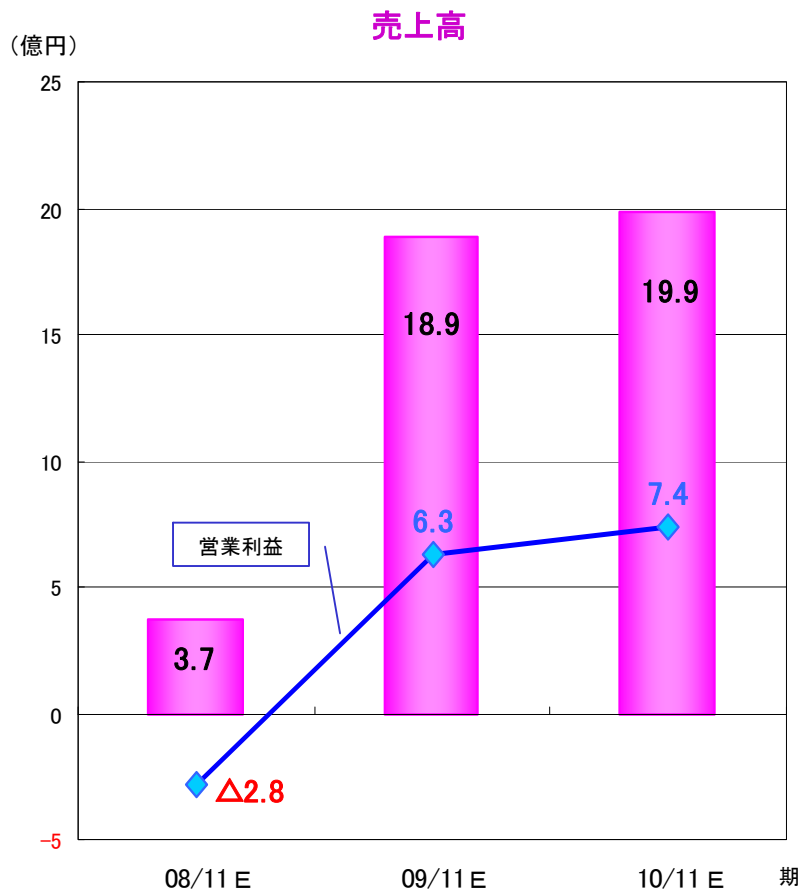
営業利益 △0.9億円

11年以降の先行投資として

- ・[次期基幹システム] 関連費用: 0.3億円
- ・新業務受託調査費用: 0.2億円 を計上

- **業務受託事業:**
受注量の減少による売上高の減少により、費用の削減幅を増やした
- **システム事業:**
保守費の増加はあるが、基幹システムの初期投資の償却終了により、コストが減少
- **安定稼働に向けた体制強化と、11年以降への投資を計画**

大手量販店向けビジネスがスタート！ 利益貢献は09/11期から！



08/11期は、初期費用の増加により赤字
09/11期より大幅に収益に貢献！

★ 総投資額：約16億

■ 本格稼働に向けて、人員体制を強化！ 支援体制も順調！

《 システム導入支援要員 》

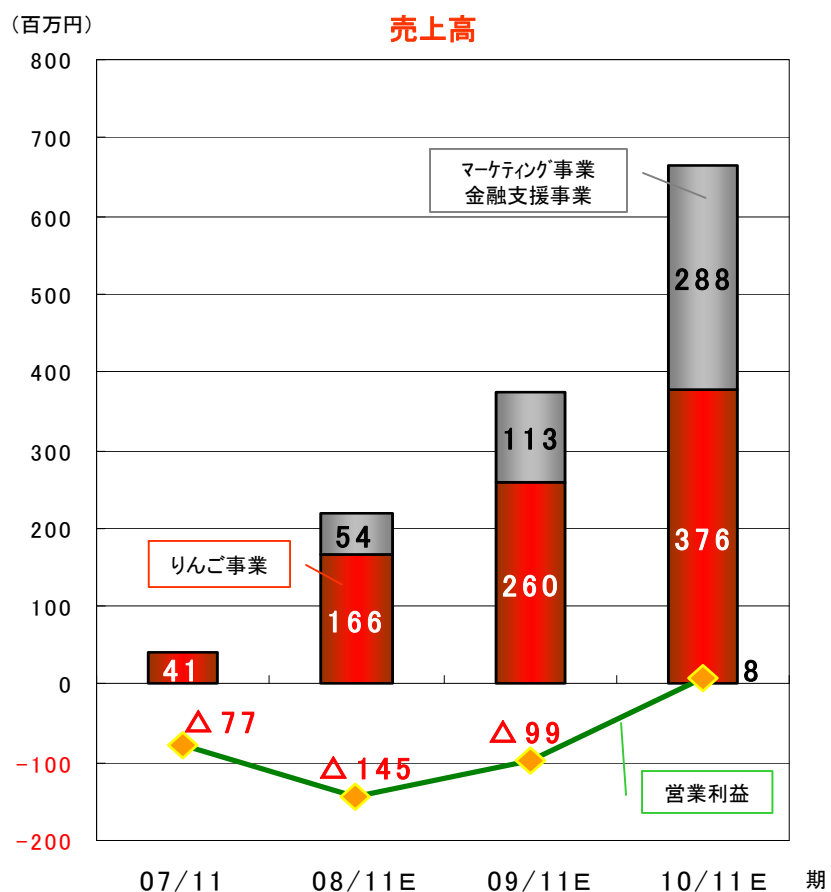
- ・支援要員がコールセンターにて各種トラブル障害の対応を行う
- ・8月から量販店の拠点にスタッフを配置し、準備は着々と進行

■ 08/11期は、導入費用／償却／保守費用が嵩むため
最終赤字予想

■ 09/11期は、数社にシステム導入が進み、大幅に
収益好転

■ 10/11期以降は、その他量販店への営業活動も推進

新領域「農産物ブランドビジネス」で成功体験を積み重ね、10/11期より大幅拡大を目指す！



■ りんご事

	08/11	09/11	10/11
取扱高… (予定)	2,000トン	3,000トン	4,000トン

- ・08/11期、事業基盤の整備と初期投資費用が発生し赤字
- ・りんごの取扱量のボリューム拡大中 ⇒ 09/11期より黒字化

■ マーケティング事業 + 金融支援事業

- ・08/11期、事業基盤の確立・拡張のため、初期投資の負担が発生
- ・09/11期まで、「産地開発」、「広告宣伝費」等の費用が嵩みマイナスだが、10/11期より黒字達成
⇒ ブランドの認知度アップに注力！

* マーケティング事業… 事業領域の拡大、体制整備に注力

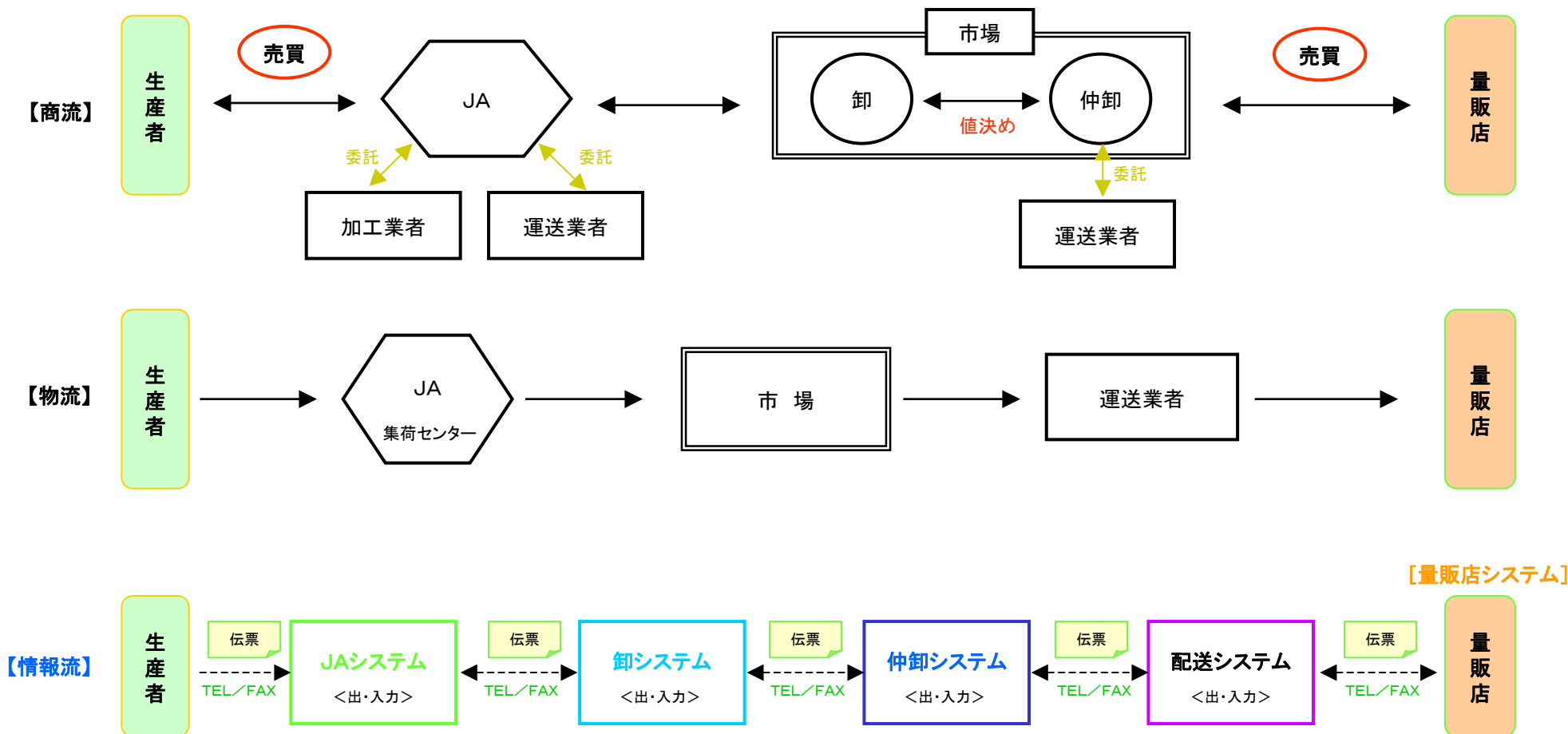
* 金融支援事業… 体制準備中！ 本格稼働は、10/11期から



參考資料

生鮮青果物流通は、“複雑なプロセス”を人的に対応しています

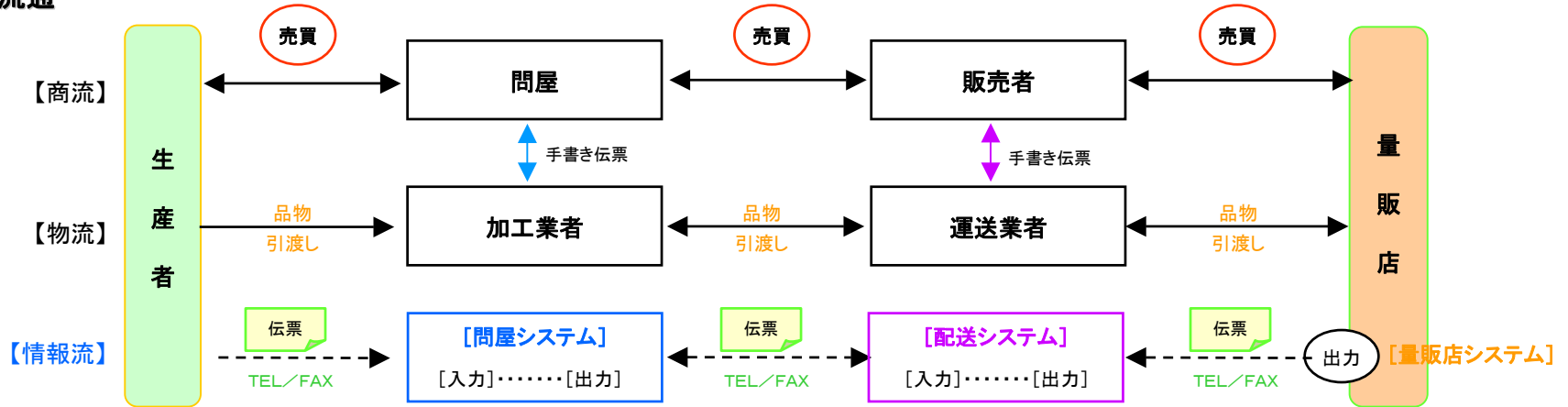
■ 卸売市場流通



それぞれのシステムを使用しており、量販店が情報追跡を行いたくても困難！

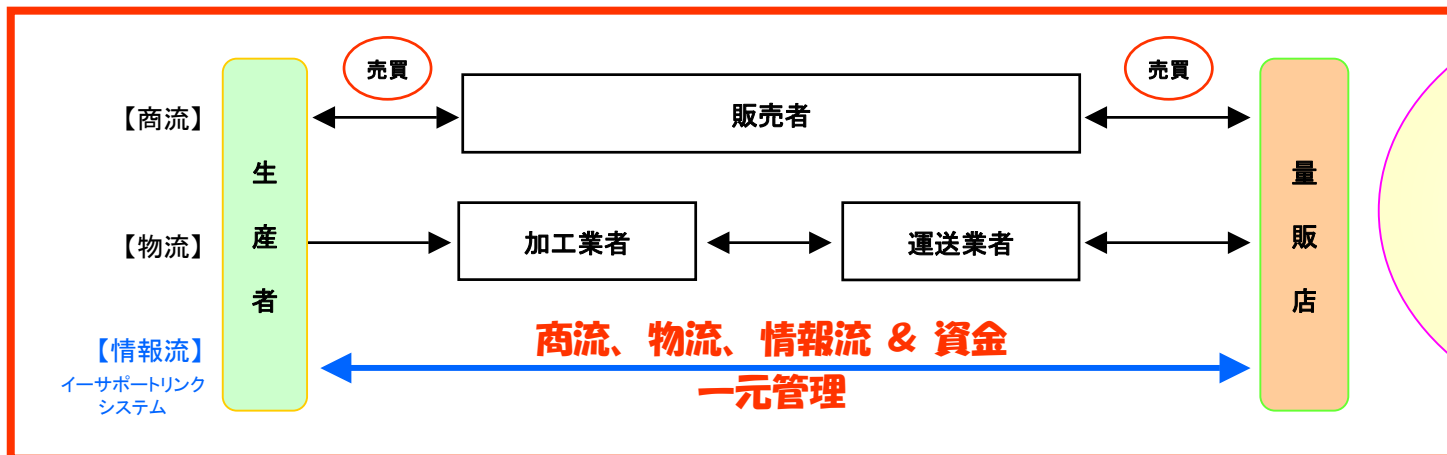
「イーサポートリンクシステム」により情報が一元管理されるため、トレーサビリティが実現！

■ 市場外流通



全体を管理するシステムがなく、全体のコスト管理もトレーサビリティもできていない！

■ イーサポートリンクシステムを採用すると…



全体をデータ管理しているためすべての情報を共有することができる！コスト管理もでき、商材の安定供給が可能に！

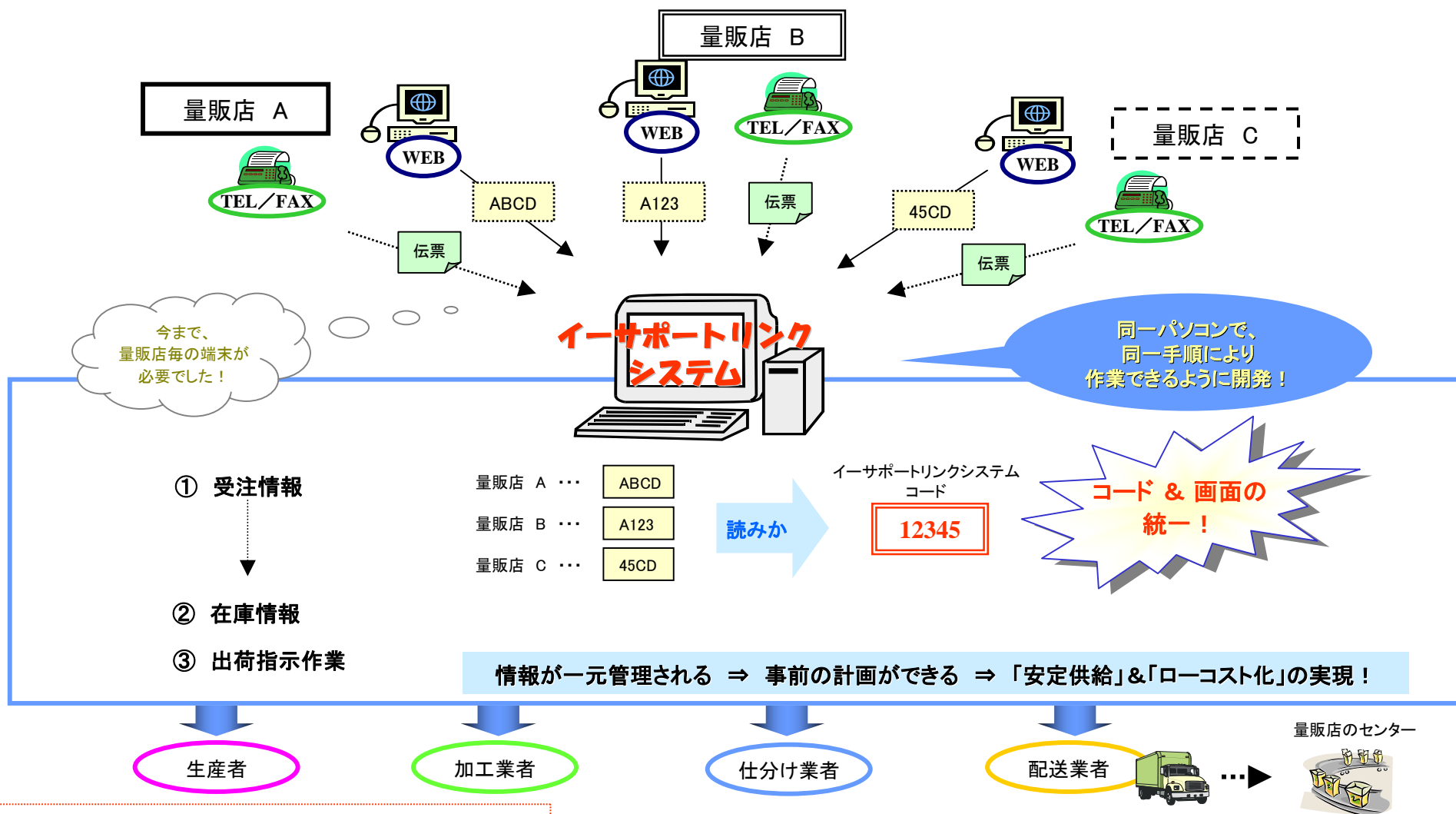
注：この図解はあくまでイメージ図で、全ての取引がこの限りではありません。

コードの統一化により、流通に携わる全ての人達と「情報を共有」することが可能に！

[WEB-EDI] や [TEL/FAX] により、さまざまな量販店 から、それぞれの商品コード で注文を受ける！

◀ 同じ商品でも、量販店ごとにコードはバラバラです！ ▶

(Q&A資料～P.5、P.7参照)



注：この図解はあくまでイメージ図で、全ての取引がこの限りではありません。

**09/11、10/11期には、「基幹ビジネス」に、
「調達支援ビジネス」、「販売支援ビジネス」が加わり、収入源となります！**

**当社は、さらに事業規模を拡大し
生鮮青果物流通業界の標準となるよう、
邁進してまいります！**

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

【本件に関するお問い合わせ】

イーサポートリンク株式会社

管理本部 IR担当

TEL: 03-5979-0784 E-mail: IR@e-supportlink.co.jp